

統計調査ニュース

平成29年（2017）6月

No.367



統計ダッシュボードの提供開始 —簡易なデータ利活用を実現—

総務省統計局長 會田 雅人

現在、政府統計は、政府統計共同利用システムに登録され、政府統計の総合窓口（e-Stat）により提供されています。

e-Statには、約70万という膨大な数の統計表が収録されており、細かい区分で集計された結果を取得することも可能です。しかしながら、調査ごと、集計結果表ごとに登録されているため、調べたい項目がどの統計調査によるものか、公表している機関がどこか等、ある程度専門的な知識がないとデータの取得が難しい面もあります。

そこで、総務省統計局では、グラフなどにより統計データを分かりやすく提供する取組の一環として、「統計ダッシュボード」システムを開発し、平成29年5月12日から提供を開始しました。

ダッシュボードとは、自動車等の計器盤のように、複数の情報を

一覧できる仕組みのことをいいます。「統計ダッシュボード」もトップ画面において複数の統計の最新情報をグラフ等により一覧表示しています。

このシステムには、よく利用されている約5000の統計データを、「人口・世帯」や「労働・賃金」など、17分野に区分して収録しています。調べたい情報を分野から選択することができるため、統計調査名や調査実施機関等が分からなくても簡単に検索することができます。

さらに、月例経済報告で取り上げられるような主要な統計データを中心に、55のグラフを提供しています。

これらのグラフは、関連する統計データの追加・削除や、時系列の表示範囲の変更など、利用者の方の用途に合わせて加工することができます。例えば、地域別の結果が

公表されている統計データであれば、時系列のグラフと地域別のグラフを簡単な操作で切り替えることも可能です。

このように、統計になじみのない方でも簡単に利用していただけるシステムであることに加え、これらのデータは全て WebAPI*でも公開していますので、統計を頻繁に利用される方にも活用していただけるのではないかと思います。

ここで御紹介したもの以外にも便利な機能を搭載しておりますので、是非御活用ください。今後、収録するデータの拡充等、利便性の向上を継続的に図っていきます。

「統計ダッシュボード」により、統計データの利活用が更に促進され、新たなイノベーションの創出につながることを期待しています。

*Application Programming Interface: 手作業によることなく、プログラムが自動でデータを取得できるようになる機能



統計ダッシュボード トップ画面

<http://data.e-stat.go.jp/dashboard/>

グラフ画面の例



地域別

時系列

目次

統計ダッシュボードの提供開始—簡易なデータ利活用を実現—	1	統計におけるオープンデータの利活用を推進するため	
家計調査(貯蓄・負債編)平成28年(2016年)平均結果速報の概要	2	自治体総合フェア2017に出展しました!	
第65回統計グラフ全国コンクール作品の募集をしています	3	「明日への統計2017」を御活用ください	6
「誰でも使える統計オープンデータ」開講中!	4	中核市発とうけい通信④	7
モンゴル国家統計局との協力の覚書の署名	5		

家計調査（貯蓄・負債編）平成28年（2016年）平均結果速報の概要

家計調査では、世帯の収入や支出のほかに貯蓄・負債の保有状況を調査しています。この度、貯蓄・負債編の平成28年（2016年）平均結果速報を平成29年5月16日に公表しましたので、その概要を紹介します。

二人以上の世帯における1世帯当たり貯蓄現在高は1820万円と、前年に比べ0.8%増加し、4年連続の増加

2016年平均の二人以上の世帯の1世帯当たり貯蓄現在高（平均値）は1820万円で、前年に比べ15万円、0.8%の増加となり、4年連続の増加となりました。（図1）

また、貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、平均値（1820万円）を下回る世帯が約3分の2を占めています。（図2）

図1 貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）

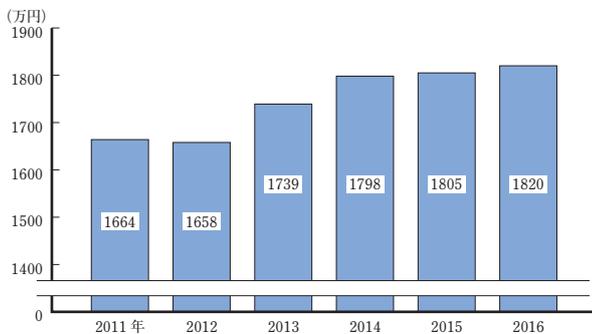
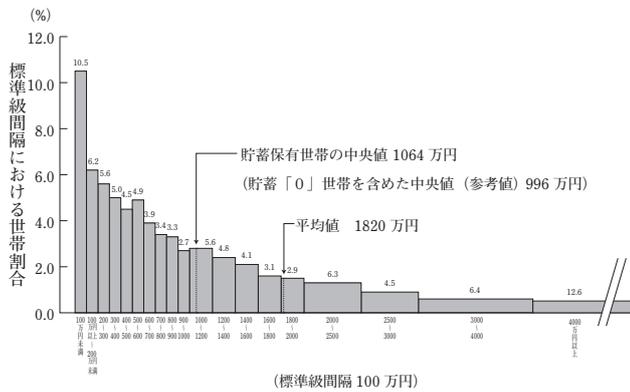


図2 貯蓄現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯）
— 2016年 —

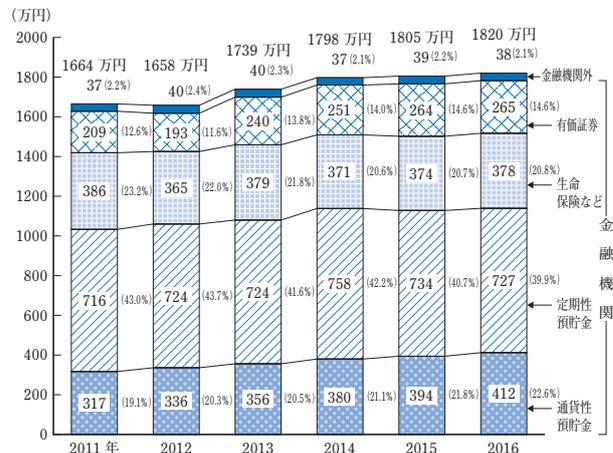


(注1) 貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄現在高が「0」の世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。

貯蓄の種類別にみると、通貨性預貯金は8年連続の増加、定期性預貯金は2年連続の減少

二人以上の世帯について貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高の推移をみると、通貨性預貯金及び「生命保険など」が前年に比べ増加となっています。このうち通貨性預貯金については、前年に比べ18万円、4.6%の増加となり、8年連続の増加となりました。一方、定期性預貯金は前年に比べ7万円、1.0%の減少となり、2年連続の減少となりました。（図3）

図3 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比の推移（二人以上の世帯）



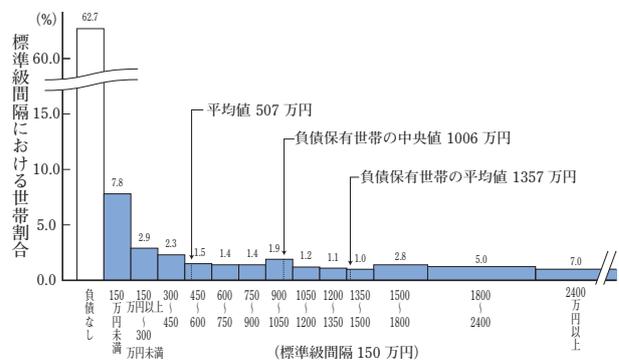
(注2) () 内は、貯蓄現在高に占める割合

二人以上の世帯の負債現在高は507万円と、前年に比べ8万円、1.6%の増加

二人以上の世帯における2016年平均の1世帯当たり負債現在高（平均値）は507万円で、前年に比べ8万円、1.6%の増加となりました。また、負債の種類別負債現在高をみると、負債現在高の約9割を占める住宅・土地のための負債は452万円で、前年に比べ6万円、1.3%の増加となりました。

二人以上の世帯の負債保有世帯に限ってみると、負債現在高の平均値（1357万円）を下回る世帯が約6割を占めています。また、負債保有世帯を二分する中央値は、1006万円（前年976万円）となりました。（図4）

図4 負債現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯）
— 2016年 —



(注3) 負債保有世帯の中央値とは、負債現在高が「0」の世帯を除いた世帯を負債現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の負債現在高をいう。

第65回統計グラフ全国コンクール作品の募集をしています

統計グラフ全国コンクールは、国民の皆様には、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知っていただくとともに、統計調査への理解を深めていただくことを目的に、昭和28年から実施しており、今年で65回目を迎えます。

このコンクールは、(公財)統計情報研究開発センター(以下「開発センター」といいます。)及び総務省が主催し、文部科学省等の後援及び協賛により、10月18日の「統計の日」の関連行事として実施しています。

平成28年(第64回)は、全国の小・中学生から一般の方々まで、26,284作品に及ぶ多くの応募がありました。

入賞作品のうち、特に優秀な作品には「総務大臣賞」が授与され、平成28年は、第4部(中学校の生徒)から「ふるさと西米良村を未来へ残そう!」が受賞されました。

平成29年の「総務大臣賞」を含む特選受賞作品の表彰は、11月13日(月)に「国立オリンピック記念青少年総合センター」(東京都渋谷区)で開催される第67回全国統計大会において、入選作品の表彰は各都道府県で開催される地方統計大会、統計功労者表彰式等において、それぞれ行う予定です。

また、58点の特選・入選作品は、上記の全国統計大会のほか、「統計データ・グラフフェア」(10月28日(土)～29日(日)新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催)等の会場において展示予定です。

今年も次のように作品の募集をしています。

皆様の創意と工夫に満ちた作品をお待ちしております。

応募資格

- 第1部…小学校1年生及び2年生の児童
- 第2部…小学校3年生及び4年生の児童
- 第3部…小学校5年生及び6年生の児童
- 第4部…中学校の生徒
- 第5部…高等学校以上の生徒、学生及び一般
- パソコン統計グラフの部…小学校の児童以上

課題

課題は各部とも自由です。

ただし、小学校4年生以下の児童の応募については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしたものとします。

規格

各部とも、B2判(仕上げ寸法72.8cm×51.5cm,用紙は貼り合わせでもB2判であれば可)です。

提出先・締切日

提出先は、各都道府県統計協会又は各都道府県統計主管課となります。

締切日は、各都道府県で異なりますが、おおむね9月上旬となっています。

入賞区分・賞等

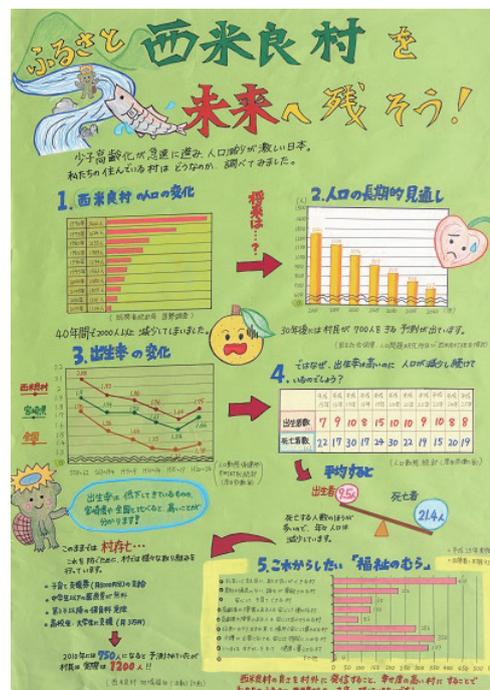
各部ごとに特選、入選及び佳作作品が選定され、特選の中から、特に優秀な作品に対しては、「総務大臣賞」、「文部科学大臣賞」等が特別賞として贈られます。

締切日や応募方法等の問合せ先

締切日や応募方法等の詳細は、開発センターのホームページ(<http://www.sinfonica.or.jp/tokei/graph/index.html>)を御覧いただくか、同センターまでお問い合わせください(連絡先:03-3234-7478)。

第64回総務大臣賞受賞作品

「ふるさと西米良村を未来へ残そう!」



宮崎県西米良村立西米良中学校3年(受賞時)
吉丸 日葉さん

「誰でも使える統計オープンデータ」開講中！

“データサイエンス”力の高い人材を育成するための取組として、ウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義データサイエンス・オンライン講座の第3弾「誰でも使える統計オープンデータ」を6月6日に開講しました。

この講座は、統計オープンデータを活用したデータ分析を、受講料無料で誰でも学ぶことができます。7月中旬まで受講登録が可能ですので、是非、御活用ください。

第1週は、e-Statの統計データを活用し、Excelを実際に使いながら、データ分析をする上での注意点等を解説します。

《第1週講師：西内 啓ほか》

マッシュアップとは

複数のデータを組み合わせると
新たな知見を得ること

e-Statには繋ぎ合わせると面白い
「複数のデータ」がいくつも

今回は産業構造と平均所得の関係を



第2週は、利用頻度の高い労働力調査及び家計調査の基礎知識や調査結果の利用の際のポイント等を解説します。

《第2週講師：中村 耕太郎ほか》

家計調査の流れ（調査世帯の抽出）



第3週は、統計データと地図を組み合わせた統計GIS(jSTAT MAP)の使い方を、保育施設及び避難施設の配置を検討する事例を通じて、解説します。

《第3週講師：亀本 薫ほか》

GISとは

GIS (Geographic Information System の略)

コンピュータを使って色々な地理情報を視覚的に表示し、管理・分析するシステムのことです。

実世界をGISで表現すると何ができるのか？

地図上に「道路・建物」等を表示し、
その上に「人口・世帯」等の統計データ、
「商業施設・防災施設」等の位置情報を重ね、
それぞれを可視化することにより、
地域の特色や問題がよく分かり、
総合的な「マーケティング、災害対策」等を
検討する際に役立ちます。



第4週は、統計APIの仕組みや統計オープンデータの活用について、地方公共団体及びビジネスでの活用事例を紹介します。

《第4週講師：小谷 祐一郎ほか》

佐賀県の事例

データ分析に基づく政策立案手法の導入

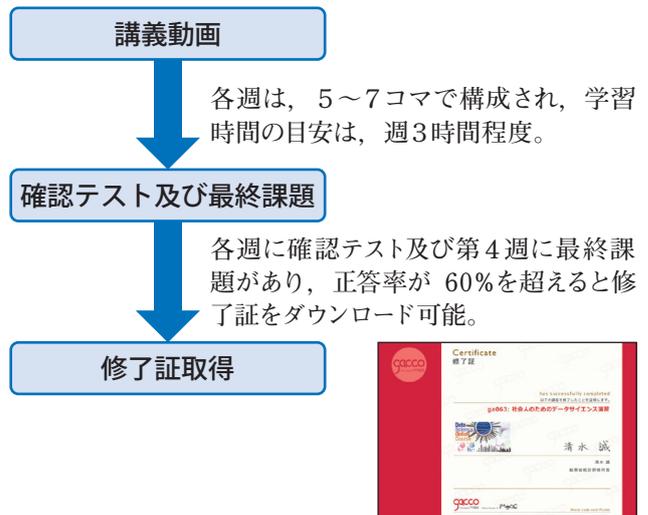
取組(実践)「99サガネット」
医療機関への搬送時間短縮
救急車にタブレット配備 → データで現場を可視化

研修(理論)
人材育成
理論に加えてケーススタディ → 他業務での活用促進

相乗効果



《受講の流れ》



また、統計オープンデータの活用事例については、講義で紹介した事例以外にも、インタビュー形式で紹介していますので、是非、御覧ください。



データサイエンス・オンライン講座ページ
<http://gacco.org/stat-japan3/>



モンゴル国家統計局との協力の覚書の署名

平成29年2月9日、総務省統計局長と、モンゴル国家統計局長は、協力の覚書に署名しましたので、その概要について御報告します。

◆ これまでの交流

統計局では、平成17年以来、毎年、モンゴル国家統計職員が、情報収集・意見交換のために総務省統計局を訪問しており、協力関係を構築してきました。

◆ 協力の覚書の締結

総務省統計局とモンゴル国家統計局は、今後の協力関係を明文化させるべく協力の覚書の締結に向けて一昨年からの検討を進め、今般実現することとなりました。

平成29年2月9日、アリオンザヤー・アユシュモンゴル国家統計局長を団長とするモンゴル国家統計局代表団3名が協力の覚書の署名のために来局しました。

同日、會田雅人総務省統計局長とアリオンザヤーモンゴル国家統計局長は会談を行い、公的統計に関連する分野における両機関の緊密な協力を確立していくことで合意し、協力の覚書に署名しました。



覚書を取り交わす両局長

また、2月13日、モンゴル国家統計局代表団は、原田憲治総務副大臣を表敬訪問しました。その際、今回取り交わした覚書についてアリオンザヤーモンゴル国家統計局長から原田総務副大臣に報告されました。



原田総務副大臣表敬訪問の様子

◆ 協力の覚書の概要

1. 目的

公的統計の効率的な整備及びその有用性の確保を促進するため、統計及び関連する分野における両機関の緊密な協力の基盤を確立すること

2. 協力方法

(1) 協力形式

専門家の派遣、研修員の受入れ、派遣団の交換等

(2) 協力分野

ア 統計調査等の実施（国勢調査、経済センサス、家計調査、消費者物価指数等）

イ 統計報告書の作成

ウ 統計分析・予測

エ 地理情報システム（GIS）及び政府統計の総合窓口（e-Stat）

オ 公的統計情報の利用等

3. 協力の期間

覚書署名の日から5年間。（5年の期間終了後、どちらかが終了の意思を通知しない限り、自動的に5年間継続。）

4. 覚書の署名者

日本側：総務省統計局長

モンゴル側：モンゴル国家統計局長

◆ 覚書締結後の交流

覚書締結後初の交流として、原田総務副大臣が、平成29年5月にモンゴルを訪問し、モンゴル国家統計局の上部機関であるモンゴル国家大会議のデンデブ・テルビシダグワ経済常任委員長、サンダグ・ビャンバツォグト法務・内務大臣と会談を行い、覚書に基づく協力の推進を確認しました。

また、バトムフ・バトツェツェグ外務副大臣と会談を行い、両国関係が幅広い分野で協力を進展していくことを確認しました。



テルビシダグワ経済常任委員長と原田総務副大臣

◆ 今後の協力関係

今後の具体的な協力については、両国で相談しながら進めていくこととなりますが、この覚書の締結を契機に、モンゴル国家統計局との友好・協力関係を一層強化していけるよう努めてまいります。

統計におけるオープンデータの利活用を推進するため 自治体総合フェア2017に出展しました！

総務省統計局及び独立行政法人統計センターでは、政府で取り組むオープンデータの推進をリードするとともに、官民における統計データの利活用の高度化を促進し、新たな付加価値を創造するサービスや革新的な事業の創出などを支援する取組を進めてきたところです。

統計局では、平成29年5月24日(水)～26日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された「自治体総合フェア2017」にブースを出展し、「政府統計の総合窓口(e-Stat)」を始め、「統計ダッシュボード」や「API機能」、「地図による小地域分析(jSTAT MAP)」などの普及を促進するため、広報活動を行いました。

自治体総合フェアは、自治体経営の革新を推進するとともに、地域住民が真に豊かさを実感できる魅力ある地域社会の実現を図ることを目的として、毎年開催されています。会場内はICT・地域情報化エリア、災害対策・危機管理エリアなどの幾つかのエリアに分かれ、セミナーも開催されました。このフェアでブースの出展を行ったのは政府機関だけではなく、都道府県や市町村の各自治体を始め、関連する民間企業等からも多数の出展

があり、来場者は3日間で、1万人を超えました。

統計局が出展したブースでは、インターネットに接続できるパソコンを用いて、実際に「地図による小地域分析(jSTAT MAP)」や「統計ダッシュボード」を操作し、その機能を紹介するデモンストレーションを行ったほか、パンフレットを配布するなどの広報活動を行いました。開催期間中の3日間は、国・自治体職員、民間開業業者、学生など大勢の方がブースを訪れ、熱心にデモンストレーションを御覧いただき、好評の声を数多くいただきました。

統計局は毎年、自治体総合フェアに出展していますが、このほかにも、講演や執筆などの活動も通じて、統計におけるオープンデータの利活用を積極的に推進していきます。



ブースの様子

「明日への統計2017」を御活用ください

統計局では、統計調査の円滑な実施と結果の利活用を図るため、統計局が実施する統計調査結果を分かりやすくまとめた冊子「明日への統計」を毎年作成しています。

この度、「明日への統計2017」を作成しましたので、是非御活用ください。



「明日への統計2017」は、以下の3分野について、紹介しています。

まず、「今年度実施予定の主要統計調査」には、就業構造基本調査についての東京大学社会科学研究所 近藤准教授の解説、平成29年就業構造基本調査の概要及び前回調査の結果を掲載しています。

次に、「調査の結果からわかること」には、我が国の社会・経済の状況を示す図表をピックアップして掲載するとともに、カラーやイラストを多用し、より視覚的に分かりやすく紹介しています。

最後に、「統計情報の利用について」として、統計局で進める統計利活用に関する取組等を紹介しています。

世帯等へ調査を依頼する際の説明資料や、学校の授業等幅広く御活用いただくとともに、一人でも多くの皆様の統計調査への理解を深めていただく一助となれば幸いです。

統計局ホームページからも御覧になれます。
<http://www.stat.go.jp/info/guide/asu/2017/index.htm>

中核市発とうけい通信③④

人・水・緑が輝く 活気に満ちた 美しい都市 岡崎

岡崎市総合政策部企画課

○ 岡崎市のプロフィール

岡崎市は愛知県の中央部に位置し、徳川家康公生誕の地として悠久の歴史と伝統に生まれ、自然に恵まれた美しい都市です。大正5年7月1日に県下で3番目、全国で67番目に市制を施行し、平成15年に中核市に移行しました。平成18年には隣接する額田町と合併し、現在では市域面積387.20km²、人口38万人を超え、西三河の教育、文化、産業等の中心都市として栄えています。

○ さくらと花火

日本の「さくら名所100選」に選定され、市民の誇りとなっている岡崎公園周辺のさくらを始めとし、市内には多くのさくらが植えられ市民に親しまれています。市では、これらのさくらを保護し、名所づくりを行うなど「岡崎さくら100年プロジェクト」を実施しています。さくら祭りの開催時には、勇壮な三河武士団や姫列など総勢800人余りの隊列が市内を練り歩く「家康行列」も行われます。



岡崎城と桜



家康行列

夏の風物詩としては、三河花火発祥の地として受け継がれている「花火大会」があります。約2万発の花火が市街地の夜空を彩り岡崎の夏を盛り上げています。



岡崎城下家康公夏まつり 花火大会

○ まちづくり

市内には矢作川、乙川の清流が流れ、岡崎の魅力ある景観を醸し出しています。こうした水辺空間を活用しながら、公民連携の新しいまちづくりを推進しています。また、本市には、徳川家及び三河武士に由来する数多くの歴史資産があります。これら歴史文化資産を活かした観光産業都市を目指したまちづくりを進めています。

○ 代表する名産品

岡崎市を代表する名産品として広く認められている八丁味噌があります。この名は、岡崎城から西に八丁離れた八丁村(現・八帖町)で作られたことからついたといわれています。大豆と塩を大きな杉桶に仕込み、石を山のように積み上げて重石とし、二夏二冬(ふたなつふたふゆ)約2年かけて熟成させます。戦国時代には、三河武士の兵糧とされたとも伝えられ、今もその伝統は変わることなく守り続けられています。

○ 伝統産業

香川県高松市(庵治石)、茨城県桜川市(真壁石)と並ぶ石の三大産地です。高い技術を持つ石工職人の町として伝統技術を継承しています。

年間を通じて様々なイベントを開催しています。是非一度、岡崎の魅力を感じにお越しください。

(写真提供：岡崎市)

最近の数字

		人 口		労働・賃金			産 業		家計（二人以上の世帯）		物 価		
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模30人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数			
		千人 (Pは万人)	万人	%	円	H22=100	兆円	円	円	H27=100	H27=100		
実 数	H28.12	126,918	6490	3.1	662,980	100.6	31.2	318,488	769,634	100.1	99.9		
	H29.1	P 12686	6470	3.0	301,049	98.5	P 29.4	279,249	360,495	100.0	99.5		
	2	P 12683	6427	2.8	293,387	101.7	P 29.3	260,644	402,541	99.8	99.4		
	3	P 12676	6433	2.8	313,276	99.8	P 37.5	297,942	363,023	99.9	99.5		
	4	P 12679	6500	2.8	P 308,069	P 103.8	...	295,929	384,297	100.3	99.9		
	5	P 12673	P 100.1		
前 年 同 月 比			%	ポイント	%	%	%	%	%	%	%		
	H28.12	-	1.2	*	0.0	1.1	*	0.7	1.4	-0.3	2.0	0.3	0.0
	H29.1	-	0.7	*	-0.1	0.6	*	-2.1	P 1.8	-1.2	0.7	0.4	0.1
	2	-	0.8	*	-0.2	0.4	*	3.2	P 0.5	-3.8	1.7	0.3	-0.3
	3	-	1.1	*	0.0	0.0	*	-1.9	P 2.0	-1.3	-2.0	0.2	-0.4
	4	-	1.2	*	0.0	P 0.8	*P	4.0	-	-1.4	-1.5	0.4	-0.1

(注) P:速報値 * :対前月
家計（二人以上の世帯）の前年同月比は実質値
サービス産業の月間売上高の前年同月比は、平成29年は前年の調整値を用いて計算した値

掲示板 統計関係の主要日程 (2017年6月～7月)

《会議及び研修関係等》

時 期	概 要	時 期	概 要
6月2日	平成29年度小売物価統計調査実務研修会	7月1日	オンライン講座「初めて学ぶ統計—公務員のためのオンライン講座—」開講（～8月31日）
6日	統計研修 統計入門課程「統計実務者向け入門（6月）」開講（～7日）	〃	オンライン講座「統計データのできるまで—統計的推測の基礎—」開講（～8月31日）
14日	統計研修 統計入門課程「統計利用者向け入門（6月）」開講（～16日）	3日	統計研修 統計専門課程「人口推計」開講（～7日）
20日	統計研修 統計基本課程「統計分析の基本」開講（～23日）	10日	統計研修 統計専門課程「国民・県民経済計算」開講（～14日）
26日	個人企業経済調査実務研修会	24日	統計研修 統計専門課程「経済予測」開講（～28日）
27日	第110回統計委員会	26日	平成29年度ブロック幹事等統計主管課長会議
28日	統計研修 統計基本課程「経済統計の基本」開講（～30日）	31日	統計研修 特別コース「統計指導者講習会 中央研修」開講（7月31日午後～8月1日午前）
28日	統計研修 特別コース「ミクロデータ分析の基礎」開講（和歌山県）	下旬	第111回統計委員会

《調査結果の公表関係》

時 期	概 要	時 期	概 要
6月2日	小売物価統計調査（ガソリン）平成29年5月分公表	7月20日	人口推計（平成29年2月1日現在確定値及び平成29年7月1日現在概算値）公表
6日	家計消費状況調査（支出関連項目：平成29年4月分）公表	28日	労働力調査（基本集計）平成29年（2017年）6月分（速報）及び平成29年（2017年）4～6月期平均（速報）公表
9日	家計調査（家計消費指数：平成29年（2017年）4月分）公表	〃	家計調査（二人以上の世帯：平成29年（2017年）6月分速報）公表
16日	小売物価統計調査（構造編）平成28年結果公表	〃	家計調査（貯蓄・負債編：平成29年（2017年）1～3月期平均速報）公表
20日	人口推計（平成29年1月1日現在確定値及び平成29年6月1日現在概算値）公表	〃	消費者物価指数（全国：平成29年（2017年）6月分、東京都区部：平成29年（2017年）7月分（中旬速報値））公表
22日	住民基本台帳人口移動報告（平成29年（2017年）5月分）公表	〃	小売物価統計調査（全国：平成29年（2017年）6月分、東京都区部：平成29年（2017年）7月分）公表
28日	平成27年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計公表	31日	住民基本台帳人口移動報告（平成29年（2017年）6月分）公表
30日	労働力調査（基本集計）平成29年（2017年）5月分（速報）公表	〃	サービス産業動向調査（平成29年5月分速報）公表
〃	家計調査（二人以上の世帯：平成29年（2017年）5月分速報）公表	〃	サービス産業動向調査（平成29年2月分確報）公表
〃	消費者物価指数（全国：平成29年（2017年）5月分、東京都区部：平成29年（2017年）6月分（中旬速報値））公表	月内	平成27年国勢調査 移動人口の就業状態等集計公表
〃	小売物価統計調査（全国：平成29年（2017年）5月分、東京都区部：平成29年（2017年）6月分）公表		
〃	サービス産業動向調査（平成29年4月分速報）公表		
〃	サービス産業動向調査（平成29年1月分確報）公表		
下旬	統計でみる市区町村のすがた 2017 刊行		
〃	平成27年国勢調査に関する地域メッシュ統計（その1）公表		
7月7日	家計消費状況調査（支出関連項目：平成29年5月分）公表		
〃	小売物価統計調査（ガソリン）平成29年6月分公表		
11日	家計調査（家計消費指数：平成29年（2017年）5月分）公表		
〃	個人企業経済調査（構造編）平成28年結果公表		

編集発行  **総務省統計局**
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1
 総務省統計局 統計利用推進課 情報提供第一係
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361
 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp
 ホームページ <http://www.stat.go.jp>
 御意見・御感想をお待ちしております。